

ぎくかい



2024.4.17

小国町議会だより 第160号

ベトナムから



スマホ

からもご覧
いただけます!



表紙関連記事は16ページ

令和6年度 当初予算可決

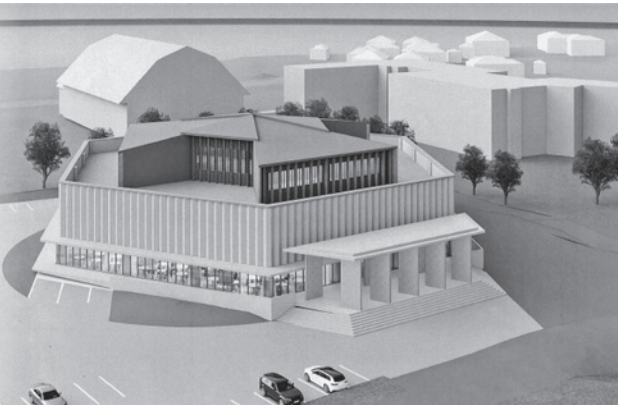
主な内容

- 定例会・臨時会 2ページ～
- 予算審査 4ページ～
- 総括質疑・審査報告 8ページ～
- 一般質問 10ページ～

総額119億1104万円

賛成8、反対1で可決!!

次期総合センター
令和7年度
完成を目指す



令和6年度一般会計投資的事業の主な内容

総務費	次期総合センター建設事業 ……8億494万円
	自治体DX推進事業 ……5435万円
民生費	訪問介護サービス確保支援事業 ……300万円
農業費	農業水路等長寿命化・防災減災事業 2000万円
	有害鳥獣被害対策事業 ……1141万円
商工費	地域経済活性化支援事業 ……810万円
	イベント関連臨時：補助金事業 ……1139万円
土木費	町道橋補修事業 ……2億1100万円
	除雪機械購入事業 ……3882万円
教育費	ICT活用推進事業 ……3032万円
	歴史民俗資料館整備事業 ……1053万円

定例会のあらまし

3月定例会は、3月5日から15日までの会期で開催された。各会計補正予算、令和6年度一般会計予算及び特別会計、企業会計、条例関係が一括上程された。令和6年度の予算に関しては予算審査特別委員会が設置され、賛成8反対1となった。一般質問では4名の議員が町当局の考えを質した。最終日には条例案件1件、諮問案件1件が追加された。全議案賛成多数として定例会を閉じた。

第一回

臨時議会

令和6年2月20日

専決処分

◆町道除排雪業務

……5000万円

主な補正予算

◆定額減税に伴うシステム改修業務 ……65万円
◆物価高騰対応重点支援地方創成臨時交付金（こども加算分） ……185万円
◆住民税均等割のみ課税世帯への給付金（こども加算分含む） ……1100万円
◆飼料及び電気料高騰支援交付金 ……52万円
◆指定管理施設省エネ化工事 ……2181万円
◆施設備品購入費 ……94万円
◆施設維持管理委託料及び除排雪業務 ……2000万円

3月定例会 令和6年度当初予算

一般会計補正予算の主な内容

農林水産業費

種子購入費助成……………405万円
産地生産基盤パワーアップ事業費
……………1332万円

消 防 費

小国分署耐震調査事業等
……………398万円

災害復旧費

令和4年度豪雨災害復旧工事
……………5077万円

条例の制定

◆小国町おぐにふるさと
文化館条例
新たな歴史民俗資料館開
館のための条例の制定

主な条例改正

◆小国町会計年度任用職員
の給与及び費用弁償条例
の一部改正

小国町会計年度任用職員
への勤勉手当が支給され
ます。

◆小国町国民健康保険施設
条例及び小国町病院事業
の一部改正

小国町立病院の付帯事
業として病院併設型小
規模介護医療院が実施
されます。

人事案件

人権擁護委員

渡部 由美子氏 新任
(小国町大字兵庫館)

陳 情

(小国町議会の対応 議員配布)

◆山形県立小国高等学校への
支援拡充について

請願者 県立小国高等学校を
支援する会会長
安部 昌晴

◆年金制度における外国人への
脱退一時金の是正を求める
意見書の採択を求める陳情

請願者 福岡県行橋市上稗田
1097-1
小坪 慎也

◆地方自治と沖縄の自己決定
権を尊重し沖縄県との十分
な対話で基地問題の解決に
臨むことを国に求める意見
書に関する陳情

請願者 沖縄に応答する会
代表 漆山ひとみ

令和6年度各会計予算 8対1で認定

間宮尚江議員を委員長とし議長を除く9名による予算審査特別委員会を設置し審議にあたった。



庁舎の損傷が目立つようになってきた

総務企画課

Q 移住記事作成報償事業の内容は。

A 移住者等がSNS等で活動・日常生活や他の

人たちの交流の様子などを紹介することに対する謝礼の支給を想定している。

Q 令和6年度は、庁舎西側の改修工事が予定されている。停留所周辺のタイルの損傷も激しいが修理の予定は。



A 損傷は承知しているが、今年度は西側壁面等の改修工事を予定している。タイル補修は、今後の計画となるが、危険のないように対策していく。

Q 次期総合センターの本体工事が始まるが、温泉施設の調査等予算は。

A まずは、次期総合センターの完成に傾注していく。状況を見ながら調査等を行っていききたい。

町民課

Q マイナ保険証の運用が始まるが、そのスケジュールは。

A 令和6年12月2日以降は、新たな健康保険証は発行されなくなる。マイナンバーカードを保険証として利用することとなるため、早めのマイナ保険証の手続きを周知していく。

なお、切り替えが間に合わない方は、資格確認書を用いて医療機関を受診することも可能である。

Q 災害が頻発しているが、令和6年度の総合防災訓練の内容は。

A 詳細は、これから詰

めていく予定だが、訓練対象地区以外の町民も参加できるような訓練にしていきたい。

Q 危険な空き家が多くなってきたが、解体補助を含め今後の対応は。



令和5年度の総合防災訓練の様子

A 平成27年度の調査結果を基にパトロール等を行ってきた。令和6年度は改めて詳しい調査を行い、特定空き家等対策検討協議会を開催し解体補助等を含め対策を検討していく。

産業振興課

Q まち歩きマップ制作協力謝礼とは。

A 事業の目的は移住定住の促進と交流人口の増加で、レジャーや暮らしを知るマップを作るものがある。作成にあたっては地域を知る町民と移住者らが製作委員会でマップ作製を進めていく。観光マップの専門家や情報発信の専門家・町民協力者

への謝礼を考えている。

Q 旧温泉健康館解体設計業務とは。

A 浴室棟を解体する設計業務で、池を更地にする分を含んでいる。屋根の一部が吹き飛ばすなど腐食が進み危険な状態である。更地にした場所の活用は検討中である。

農林振興課

Q 野生キノコ検体採取業務の進捗は。

A 一部キノコについては検体が集まらない状況にある。出荷自粛から数年経過しているが、山菜やクマ肉についても放射性物質が検出されていない。

厚生労働省と林野庁

の担当者で地元の担当者の意見交換を行った際、非破壊検査と放射性セシウムについて検出されていないので解除をお願いした。



地域整備課

Q 除雪費約2億円と計上されているが、不足はないか。

A 降雪状況の対応も毎年違ってきている。状況に応じて補正予算等で対応している。

Q 水道事業の長沢、針生

の水源地で停電が発生した場合の発電機設備は十分か。

A 針生水源地は新しい非常用発電機を備えているが、長沢水源地での備えはなく、事案が発生した都度、建設会社からの借用で対応している。

教育委員会

Q 学校給食費への補助は。

A 一食当たり小学校は305円、中学校は360円である。材料費や光熱費等の高騰により、小学校の値上がり分25円のうち10円を、中学校は値上がり分30円のうち15円を補助する。

Q 町内の閉校校舎維持管理事業は。

A 玉川小中学校、小玉川小中学校、白沼小中学校、北部小中学校、沖庭小学校の旧校舎は、地元住民

に清掃を委託しているほか、消防設備等の点検や電気代、水道代等を計上している。



小中学校のある日の給食

Q 旧小国小学校の周辺住民から環境が悪化しているとの声もあるが、解体は。

A 玄関を封鎖し、最低限の管理をしている。

外観的にも良くない状況であることは認識している。解体は検討しているが、多額の経費を要するため、財源の確保が最大の課題である。

町立病院

Q 令和6年度より病院内に介護医療院を開設し、小国病院病床26床、介護医療院療床19床となるが、入院患者が26名を超えた場合は。

A 令和5年度も入院患者

が30名を超えたことがあった。介護医療院の療床には入院できないが、安定した方の退院先となることで入院できないことが無いようにしたい。

健康福祉課

Q 妊婦出産支援事業の妊娠、出産時における町のフォロー体制と出生数の増加は。

A 母子保健担当が妊娠時、出産後定期的に面談している。

出生数は30名を切っている状況にある。事業の結果、急激に出生数が増えるということはないが、安心して生み育てられるように支援していく。

温身の郷

Q 湯上がりサロンパッケージエアコン設置費用400万円の内容は。

A エアコン設置場所は、3階の東側から南側にかけてガラス張りの30畳であり、既存の冷房施設の修繕には多額の費用を要する。冷房効果の出るサイズと機種を選定した電源工事も含めた予算となる。



3階の湯上がりサロン

総括質疑

小 関 和 好

地域自治の確立を

小関 当町の地域づくりは他自治体に比べ大幅に遅れをとっている。当初予算においても他自治体は、地域活動に多くの予算を割いており、地域運営組織は町政運営になくはならない存在となっている。

当町の当初予算には、地域活動に関する予算は見当たらない。地域の行政参加は、職員の仕事の効率化や災害対応にも大きく寄与し、自主防災のさらなる組織化にもつながる。

令和6年度における地域づくりに対する町

長の所信をお聞きしたい。また、地域に職員を派遣する予定はないか。

町長 当初予算すべてが地域づくりであり、第5次総合計画を進めていくことが地域を活性化すると考えている。

総務企画課長 派遣は考えていないが、パートナーシップ事業のよ



小 林 嘉

1 旧小国小学校の校舎解体・撤去について

小林 周辺住民は早期の解体を望んでいる。

町長 建設部材にアスベストが含まれているために、多額の支出を伴い解体撤去には交付税等の補填措置がないので100%借金とな

つてしまう。県議会、町村会などに予算措置を要望している。それまでは周辺に影響を及ぼさないよう管理していく。

2 観光DMOへの投資効果は

小林 観光DMO連携体が組織されたが、投

資に見合う効果をあげているのか。

町長 小国町観光を推進する「推進主体」をどのように構築し、その人材を「どう確保していくのか」が喫緊の課題である。連携団体の合同会議など様々な機会

渡 邊 重 信

1 地域経済活性化支援事業について

渡邊 町内では初の取り組みとなるが、関係団体との調整、町内業者はこの事業に対し対応ができていないのか。また、スマホに不慣れな高齢者もいる。還元されたポイントが町内で消費されない可能性も高いのではないか。

2 中心商店街区機能形成事業について

町長 県の地域経済活性化・物価高騰対策補助金を活用し、キャッシュレス決済ポイント還元

渡邊 アスモ全体として、今後も持続可能な経営支援はできているのか、目標と着地点は。

町長 検討は重ねている。関係団体と連携し方向性を検証し、助言支援を行う。

予算審査特別委員会報告書【要旨】

長期に及んだコロナ禍の影響から脱却し、日常的な生活と経済が活性化している中、本町の魅力を広く内外に発信するとともに、選ばれるふるさとを創っていく「白い森まるごとブランド構想」が一層推進されるよう期待する。また、物価の高騰や今冬の異常気象による影響は町内経済に大きな打撃を与えていることから、町内の現状を細やかに把握され、関係機関との連携により遅滞なく積極的な地域経済活性化施策を講じられたい。

本町における人口減少や少子高齢化がこのまま進むと、町の予算規模の維持が困難となり、その影響が町づくり全体に及ぶことが危惧される。こうした状況を踏まえ、施政方針の中に記載されている各種施策を着実に遂行し、持続可能な行財政運営にあたられることを強く望む。

令和6年度各会計予算12件については、次の意見を付して原案のとおり議決するものと決し、次の意見を付して議長に報告した。

- 1 デジタルの力は過疎化が進行する自治体ほど必要となり、困難な課題を解決できる可能性が高いものとして期待されている。令和6年度予算においては基幹業務システムの標準化や統合型地理情報システム導入などが盛り込まれているが、それらを足がかりとして来年度以降も継続的かつ効果的なDXを推進されるとともに、全庁による横断的な取り組み、精度の高い事務執行につなげられたい。
- 2 人口減少、少子高齢化が加速するなか、町民一人ひとりが、住み慣れた地域でいつまでも安心して、自分らしく生きがいを持ちながら暮らすことができるよう、地域全体で助け合い、支え合う環境づくりが求められている。持続可能な地域の実現に向け、まちづくりパートナーシップモデル事業などを通じ、地域と行政がともに考え、力を合わせ活動する協働のまちづくりを実践されたい。
- 3 町立病院並びに介護老人保健施設においては、マンパワー不足の問題を抱えてその運営が不安視されてきたが、的確な現状分析に基づいた介護医療院への病床転換は、構造的な改善に繋がるものとして評価している。今後も環境の変化を見極めながら、安全安心な医療・介護サービスが継続されるよう努力されたい。

令和6年3月14日

予算審査特別委員会

委員長 間 宮 尚 江

小国町議会議長 安 部 春 美 殿

全文は議会ホームページをご覧ください

1 早急に町史編さん委員会の立ち上げを

2 「要配慮者個別避難計画」と 福祉避難所運営について



ま みや ひさ え
間宮 尚江 議員



1 町史編さんの時期
では

問宮 現行の「小国町史」は昭和41年発刊から58年の歳月が流れた。町史発刊は、町民の郷土に対する理解を醸成し地域に関する貴重な歴史資料を網羅的に収集、整理、保存し次世代に伝承していくという大きな役割を担っている。町史発行より半世紀を経てきているなか、早急な編さん作業に取り掛かるべきでは。

検討課題と捉えていく

町長 新たな資料等の確認作業を前提とし、町史及び増補版発行後の事跡を含め町史における位置づけを評価しながらその方向性を議論していく。町史編さんには膨大な作業に時間を要するため、関係

機関との意見調整を踏まえ検討課題と捉える。

問宮 昭和41年以降の災害史も含め早急な編さん作業を望む。

2 個々の状態に応じた避難支援を

問宮 令和3年の災害基本法の改正により避難行動要支援者ごとの「個別避難計画」が町の努力義務とされた。福祉避難所の開設運営と、要配慮者の個別避難計画の進捗状況は。

施設運営者と協議実施する

町長 「さいわい荘」「満天の家」「白百合保育園」「すみれ保育園」が福祉避難所として協定を締結している。今後、施設運営者と定期的な協議の場を設け調整を図る。

個別避難計画については要介護度や障害の等級だけでなく総合的な判断を必要とする。関係機関と医療専門職の関係者による候補者の選定及び協議を行い、優先度の高い5人を決定した。

図上訓練キットを有効に

問宮 過去の災害から学び※図上訓練によるシミュレーション訓練も重要である。研修の成果は。

町民課長 職員が防災

の研修に参加してきた。図上訓練キットというものがあり、より実践に近い形で訓練効果を高めていくための災害対応の運営ゲームである。キットを来年度以降購入していく予定だ。



地域ごとに図上訓練を行うべき

※災害図上訓練：災害に対する地域や自らの意識に何が足りないかへの「気づき」になり今後どのような訓練を行えばよいかの「行動」に繋がるものをワークショップ形式で幅広い世代、職種の人たちと行う訓練。訓練キットは3種類ある。

①DIG【デイグ】災害・想像力・ゲーム
②HUG【ハグ】避難所・運営・ゲーム
③クロスロード YES
かNOか多様な避難行動をひきだすもの



1 停電時の避難所対応は 2 森林環境譲与税の活用と 今後の取り組みは



わた なべ しげ のぶ
渡 邊 重 信 議員

1 停電時を含めた災害時の避難所の対応は

渡邊 今年も一月に町内小坂町、緑町、一部岩井沢を含む500戸の停電が夜間に発生した。吹雪の中、役場庁舎に避難所開設が行われた。小国大橋の街灯は一昨年の八月豪雨災害から切れたままであり歩行避難も危険であった。移動時の安全安心をどのように考えているのか。夜間停電時の想定は。

町長 昼夜問わず様々な災害ケースを想定した対応と必要な設備備品の整備として自家発電の施設と発電機4台、反射式ストロボを37台確保。

小国大橋の街灯整備は

渡邊 一昨年の8月豪雨災害から切れたままの状態が続いている。

ソーラー等の仮設照明の検討は。

地域整備課 小国大橋は山形県の専用物件である。より安価な提案で県に要望する。

町民のマンパワーが必要

渡邊 自主防災組織の組織化、夜間の防災訓練や防災士の育成が必要ではないか。

自主防災組織の重要性を感じている

町長 町内中心部の組織化が難しい。夜間も



消えたままの小国大橋の街灯

含め隣組単位での避難確認を積み上げる。防災士についても受講料の一部支援を検討し、防災士育成に努める。

2 森林環境税の町民負担が始まっている

渡邊 令和6年度から森林環境税が国税として一人10000円が課税される。森林整備・保全、木材利用の取り組みと、目指す森林サ

ービス産業とは。

所得向上につなげていく

町長 これまでの森林セラピーにおいては、一年目に地域資源調査や企業のニーズの引き出しを行い、二年目は企業向けモニターツアーのエビデンスを取得了した。小国町の可能性を感じる評価を受けた。利益が小国の森へ還元される好循環を生む仕組みを構築する。



森林観光に期待する

町立病院・温身の郷 将来とも経営存続を



こばやし
小林

よしみ
嘉議員



今後も存続できるのか

小林 町立病院や温身の郷は地域包括ケアシステムの中核施設であり先進施設・全国モデルとして多方面から注目されてきた。町民福祉の維持向上に対処していくためにも、なくてはならない重要な施設である。将来経営は、

外部の提言も受け存続計画をまとめた

町長 将来の存続に向け外部の視点からの提言を受けた結果、医療・介護需要とのミスマッチがあり、入院や入所の稼働率向上と機能転換が課題との指摘を受けた。

少子高齢化の進展や医療スタッフの減少など、今後の課題を踏まえ、町立病院が中心と

なり機能転換に関する計画を取りまとめた。

小林 具体的な機能転換に関する考えとは。

高齢化への対応と看護・介護の充実

町長 高齢化の進行への対応と在宅支援を維持充実させる。また、夜勤体制を看護師と介護員で編成できる療養病床や介護医療院に転換することで、中長期的に安定経営を目指す。訪問看護ステーションは現状を維持する。

介護医療院は医療と生活施設の機能を兼ね備え、要介護1から5の方を対象に、介護保険制度で入所サービスを行うもので、町立病院に併設し「病院併設型小規模介護医療院」となる。

施設配置は、二階病棟の東側病室の8室19床を介護医療院の居室などに転換する。一般病床は45床から26床となる。2年後をめどに「温身の郷」の統合を計画している。

医療介護院とは



生活の場でありつつ、医療、ケア、看取りまで担う



1 明沢川地点における 水力発電所建設事業の中止について

2 仁科町政の2期8年の 成果について



いしやま くみ こ
石山久美子 議員

1 水力発電所建設事業の中止について

事業の取組み、中止に至る経過は

石山 小国町には長者

原発電所、玉川発電所、玉川第二発電所、赤芝発電所、第二赤芝発電所、そして横川発電所の6つの発電所がある。

県企業局の明沢川地点での発電事業は山の恵みを受けた期待の事業であったはずだ。

平成26年6月「地形測量実施」があり令和3年12月「現地調査の終了」を受け、令和4年12月「綱木箱口地区説明会」と順調に進められてきた事業が突如中止となった。その経過について伺う。

町は用地取得を担当

町長 当初の計画では、

明沢橋から4キロメートル上流の地点で取水し、導水路トンネルを通過し、綱木箱口高坂地内で放水。その落差を利用して発電する計画であり事業費は約80億円とのことであった。町としては発電所予定地までの道路整備にかかる用地取得に向けて準備を進めてきた。

企業局側からは、技術者不足、建設資材高騰に加え、地質調査により、一部に軟弱地盤が判明したため、事業費を見直した結果、50億多い130億円に達することが説明された。独立採算で運営する事業実施は難しいと判断し、12月2日、事業中止の説明があった。

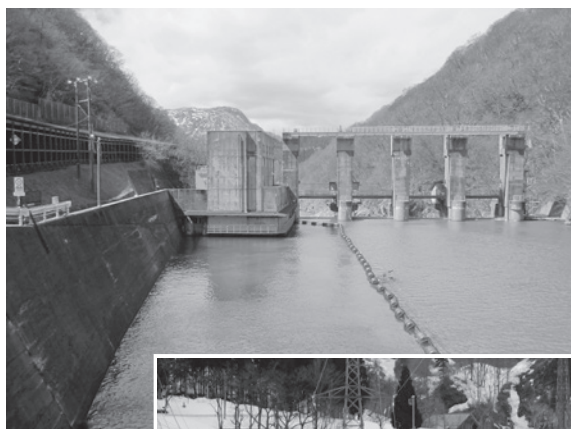
石山 地域住民への丁寧な説明はあったのか。

町長 建設予定地関係者には11月6日に県企業局から説明された。

期待していた事業の中止は落胆の声も聞かれた。新たな再生可能エネ

ルギー活用施設計画の消滅は大変残念である。事業主体の判断であるので、やむを得ないと考えている。

※他の質問「仁科町政2期8年の成果について」



▲小国で最初にできた長者原発電所（水路式）

▶企業を支える赤芝発電所（ダム式）

叙勲伝達

故金熊太郎元議長

旭日単光章受章

長年にわたり

地方自治に貢献されました



代理 金和久氏

四角で囲う形が多く、レイアウトに硬さを感じる。



カラー写真が新年の明るいイメージを連想させてくれた。



町民の方々の声による施策で、暮らしが豊かになった、というような特集を組んでほしい。



広報モニターさんの声

議会広報モニターのみなさまから寄せられた声をご紹介します

陳情の内容が小国町とどういう関係があるのかよくわからない。



委員会活動の写真と記事のバランスが良かった。タイトルから記事へとスムーズに目線が動き、読みやすかった。



政策提言が町政にどのように反映されたのか、今後紹介してほしい。



議会運営委員会視察研修

令和6年1月22日～23日

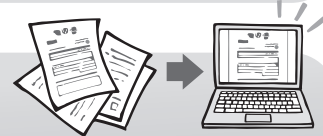
場所 東京都台東区ふるさと交流ショップ台東
目的 特産品の販路拡大ならびに流通に向けて



場所 全国町村議会議長会
研修テーマ 議員発言の意義と権限、制限発言など

令和6年2月2日・2月6日

場所 山形県川西町・飯豊町
目的 ペーパーレス化による事務コスト削減と
能率向上に向けたタブレット導入について



置賜広域行政事務組合・西置賜行政組合 「消防指令センター」統合 米沢市に

これまでの119番通報は、西置賜行政組合消防本部と置賜広域行政事務組合消防本部のそれぞれで対応していましたが、令和6年4月から通報受付業務を一つに集約し共同で運用することになりました。

これにより、近年大規模化している災害において、災害被害状況を初動段階から把握することで、規模に応じた迅速な応援体制を構築することができます。



がんばってます！



ヒエウさん

トゥアンさん

プロフィール

氏名

チャン・ヴァン・

トゥアン(31歳)

チュオン・ヴァン・

ヒエウ(34歳)

出身 ベトナム

勤務先 荒川興業(株)

Q 小国町に来てどれくらいになりますか。

A 6年になろうとしています。



Q 仕事は、大変ですか。

A 最初は大変だったけど今は慣れました。

Q 小国町の最初の印象はどうでしたか。

A 雪が多くてびっくりしました。すべて真っ白で寒かったです。逆に夏は大丈夫です。

Q 休日は、何をしていますか。

A 町内で買い物をしています。昼休みには、卓球をしています。

Q 日本の食べ物は何が好きですか。

A おでんが好きです。辛い物が大好きです。日本のものはおいしいです。



Q 小国町の印象は変わりましたか。

A 寒いのは苦手ですが、春に咲く桜は楽しみです。

次は6月定例会です。傍聴どおしください。

議会に対してのご質問、ご意見をお寄せください。

議会事務局(62)2448

将来の夢を 教えてください！

お金を貯めてベトナムで建築資材の卸業の店を開きたいです。
トゥアン

日本に長くいたいですが、妻と子供がいますが、帰ってからのことは考えていません。
ヒエウ

(文責 小関)

編集後記

今年もまた、桜の季節となりました。元旦に被災した北陸にも桜は咲いていることと思います。

亡くなられた方々のご冥福と、被災された方々にはお見舞いを申し上げます。

今号は、わが町の特定技能実習生にお話を聞きました。これからも彼らとの交流を深め、多様な人たちと共に町を持続させていかなければならないと思います。

小関(記)

発行責任者

議長 長 安部 春美

広聴広報常任委員会

委員長 伊藤 弘行

副委員長 石山久美子

委員 柴田 伸也

委員 間宮 尚江

委員 小関 和好

委員 遠藤 和彦